



FD1231M基板 改造位置 プロット図  
S=N/S

### 1. 概要

本図面は、PC-9821 Ls12/D10 が標準で搭載している FD1238T を取り外し、PC/AT 互換機用の FD1231M を接続する際に FDD に対して改修を行う図面である。

PC-9821 Ls12/D10 への接続は、別途「FDDインターフェイス変換基板回路図」と合わせて改造を行うこと。

### 2. 材料

PC/AT 互換機用の FD1231M (コントロールチップに FDN30x を搭載し、P/N が下 4 桁 -440-x の個体

### 3. 改造内容

- A. 「T/H」パターンがハンダでショートしてあるので、ハンダを吸い取りオープンとする。
- B. ハンダを吸い取り、オープンにした「T/H」パターンの左側と、FDD の 34P 端子の 1番ピンを接続する。
- C. 「R1」がオープンになっているので、0ohmのチップ抵抗で接続する。
- D. ドライブ番号を DX1 から DX0 とする必要がある場合に限り、FDD の 34P 端子の 12番ピンから FDN303 の 19 番ピンを繋ぐパターンを切断し、代わって FDD の 34P 端子の 10番ピンと FDN303 の 19 番ピンを接続する。
- E. FDN303 の 36 番ピンに +5V を供給する。C4 と TP3 をショートする方法があるが、基板が異なるなどの理由で記載した方法を用いる事が出来ない場合は、電源端子より直接 +5V を供給すること。
- F. 2HD/2DD SWを撤去し、代わりに1kohmの抵抗を使って接続する。

### 4. 特記事項

改造した FD1231M と PC-9821 を接続する際は、端子のピンサインに注意すること。

### 5. 補足

コントロールチップに FDN30x を搭載している FD3238T は、上記と同様の改造を施しても PC-9821 (Xa7 以降の機種) では正常に使用できないので注意すること。

工事名称 PC-9821 Ls12/D10 PC/AT 互換機用 FD1231M 接続計画	工事設計図
図面名称 PC/AT 互換機用 FD1231M 改修図	縮尺 N / S